

6月は
環境月間

無駄なく！賢く！

省エネ生活を 楽しもう



オフ！



普段の生活で何気なく使っている電気や熱などのエネルギー。

しかし、使い過ぎると光熱費が増えるだけでなく、

地球温暖化といった環境問題の原因にもなります。

今回の特集では、節電などの「省エネルギー(省エネ)」を取り上げ、

効果的な省エネ術や市が進めている取り組みを紹介。

この機会に自分に合った省エネの方法を見つけてみませんか。

問い合わせ 環境計画課 ☎211-2877

エネルギーの使い過ぎは 生活に悪影響

エネルギーを使用すると発生する二酸化炭素などの温室効果ガスは、地球温暖化が進む原因の一つ。気温が2℃～3℃上昇すると、異常気象や農作物の収穫量が減少するなどの影響が出てしまいます。

温暖化が進むと…

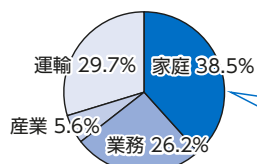


無駄遣いをしてしまう 人の割合が増加

平成26年度の市の調査によると、部屋の明かりを小まめに消すなどの環境にやさしい行動を実践している人の割合は64%。市ではこの割合がさらに増えることを目指していますが、右のグラフのように、エネルギー消費量の割合が多い家庭部門での節約意識が薄れてきている傾向も見られます。

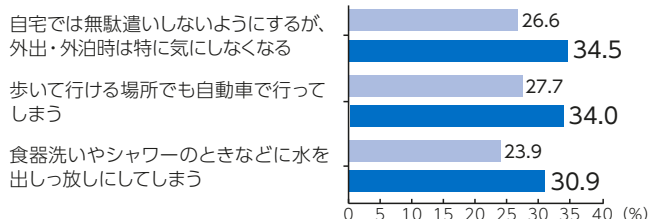
今一度生活を見直そう！

■エネルギー消費量の部門別内訳



札幌ではエネルギーの
約4割が家庭で消費されています！

■日常生活でのエネルギーや資源の無駄遣い (平成25年、平成27年)



※平成27年度札幌市の温暖化対策推進に関するアンケート調査より抜粋



省エネは家計の味方にも！ できることから実践してみよう

省エネになかなか興味が湧かない…そんな方も、家の光熱費を減らすことから始めてみませんか。お金をかけずにできる省エネ術を紹介します。



私が解説します！

温暖化対策や省エネ・節電術などの幅広い知識を持った「うちエコ診断士」として活躍する

おかざき あけみ
岡崎 朱実さん

冷蔵庫

食料をいっぱい詰め込まず半分にと

年間**1,310円**の節約

室温が22℃の状態、設定温度を強から中にと

年間**1,840円**の節約

もうひと工夫！

冷蔵庫と壁のすき間を広めにする

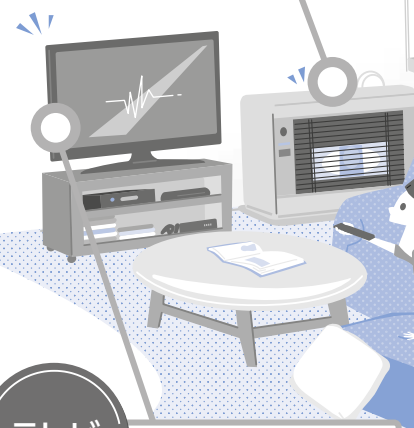
石油ストーブ

ストーブ(FF式)の設定温度を22℃から20℃にしておく

年間**2,250円**の節約

もうひと工夫！

夏の間は電源プラグを抜き、フィルター掃除をしておく



テレビ

テレビ(32型)の画面の明るさの設定を最大から中間にすると

年間**810円**の節約

もうひと工夫！

省エネモードに設定して、明るさなどを自動で調整して節電

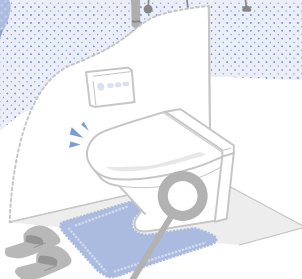
トイレ

トイレ(温水洗浄便座)のふたを使わないときに閉めると

年間**1,040円**の節約

もうひと工夫！

夏の間は便座の暖房の電源を切る



石油給湯器

1日2回の食器洗いに使うお湯の設定温度を40℃から38℃にすると

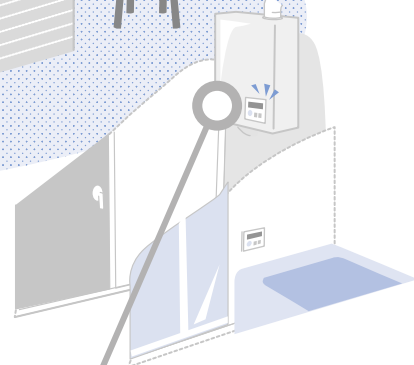
年間**540円**の節約

42℃のシャワーを流す時間を毎日1分短くすると

年間**2,440円**の節約

もうひと工夫！

長時間使わないときは主電源をオフ



※北海道経済産業局の試算によるデータを参照

全て実践すると年間**10,230円**の節約に！

このような実践例で、電気の使用量を約168キロワット時、灯油の使用量を年間約63リットル減らすことができます。これにより削減できる二酸化炭素は、スギの木約31本が1年間で吸収する量(約271キロ)とほぼ同じです。



効果を実感してもっと楽しく！ 省エネ製品も使ってみよう

より省エネ効果の高い家電などに買い替えることも取り組みの一つ。
分からないことは専門家に相談することもできます。

手軽に買い替えられる機器で節約

LEDライト



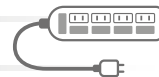
白熱電球や蛍光灯より消費電力が少なくだけでなく長寿命。光の明るさや色を調整できる照明器具もあります。

節水タイプのシャワーヘッド



シャワーは16分流すと浴槽1杯分の湯量とほぼ同じ。お湯を手元で止められる切り替えスイッチがついたものになると、簡単に節水できます。

節電タップ



家電を使わなくてもプラグをコンセントに挿しているだけで消費される待機電力。タップのスイッチを切るだけで無駄な電力を省けます。

効率良くエネルギーを使える機器で無理なく省エネ

自宅で発電して電気の自給自足

太陽光パネルやエネファーム（家庭用燃料電池）などを設置すると節電につながるだけでなく、発電により電気代を節約できます。また、蓄電池を設置すると停電時でも電気を使えて安心です。



次世代自動車で環境にやさしく

電気などガソリン以外のエネルギーを使う次世代自動車は一般的な車より燃費が良く、排気ガスの二酸化炭素なども減らせます。エンジン音が小さく、振動が少ない点もおすすめです。



購入の補助制度があります！

①太陽光パネルは上限22万5千円、エネファームは一律15万円、蓄電池は上限20万円、②次世代自動車の購入は上限30万円の補助を行っています。申請には条件がありますので、詳しくはお問い合わせを。
詳細①はエコプロジェクト受付係 ☎351-1377、②は環境計画課 ☎211-2877

省エネについてさらに知りたい方は

6/1(木)から受け付け開始！

見える化機器の貸し出し うちエコ診断

分電盤（ブレーカー）に取り付けると、家庭全体の電力使用量が分かる機器を貸し出し（最大6カ月間）。節電の効果を目で見て実感できます。



家庭ごとのエネルギーの使用状況をうちエコ診断士が分析し、生活状況に合わせてアドバイス。平成28年度は300世帯を診断し、年間節約金額は平均約3万円となりました。

申込期間 6/1(木)～12/25(月)

申込方法 電話、ファクス、Eメール、ホームページ。申込期間中、随時市コールセンター（1ページ）へ

無料で相談できます！

省エネ・節電総合相談窓口

節電などの省エネに関する質問・相談の受け付けや、個別に家電の電気使用量を調べられるワットチェッカーの貸し出し（1カ月間）をしています。



日時 毎週月曜・水曜13時～17時

場所 環境プラザ（北区北8西3エルプラザ内）

相談方法 電話、Eメール、直接。環境プラザ ☎728-1667、Eメール10@kankyo.sl-plaza.jp へ

札幌の省エネ・節電の取り組みの目印はこちら！

はじめよう、省エネ・節電を楽しむ暮らし方。
Let's スマート!
さっぽろスマートシティプロジェクト

「さっぽろスマートシティプロジェクト」
省エネ・節電を楽しむ暮らし方を皆さんと一緒に目指していく取り組みです。



クール チョイス
「COOL CHOICE」

温暖化対策と快適な暮らしにつながる賢い選択をすすめる国の取り組みで、札幌市も賛同しています。



省エネを応援する イベントに参加してみよう！

市では省エネへの理解を深め、環境の大切さを学べる催しを行っています。
気軽に参加できるので、ぜひ出掛けてみませんか。

いつもと違う明かりを楽しみませんか さっぽろキャンドルナイト

市内の観光名所や商店街の照明を消して、キャンドルの明かりの中で演奏会や朗読会、キャンドル作りなどを行います。自宅で明かりを消してゆっくり過ごすのもおすすめです。



日時・場所 6/21(水)20時～22時。6月上旬～7月下旬に市内各所で関連イベントあり。詳しくは環境プラザ(北区北8西3エルプラザ内)などで配布中のパンフレット、ホームページ(www.sapporo-candle-night.com)をご覧ください



家族で参加できる催しがめじろ押し 環境広場さっぽろ



「ECOなさっぽろ」をテーマに開催するイベント。企業や団体の活動に関する展示やリサイクル素材を使った工作などの体験教室、ステージショーなどが楽しめます。

日時 8/4(金)～6(日)10時～17時(6日は16時まで)
場所 アクセスサッポロ(白石区流通センター4)



将来の札幌の姿を考えよう！

次世代に向けた 地域づくりシンポジウム

環境などさまざまな分野に渡り、持続可能な方法で発展していく地域づくりを考える講演。秋元市長らが企業・大学・自治体の取り組みなどを話し合います。

日時 6/16(金)13時30分～17時
場所 北海道大学鈴木章記念ホール(北区北13西8)
定員 200人
申込 市役所12階環境計画課、環境プラザで配布中の申込書か、ホームページ(epohok.jp/event/6822)の申し込みフォームで、6/15(木)まで。抽選



最新の省エネ機器を見に行こう！ 次世代エネルギー広場

太陽光パネルやエネファームなどの省エネ機器が勢ぞろい。うちエコ診断や省エネ製品の性能が分かる



体験コーナーのほか、燃料電池やソーラーパネルを使った小学生向けのミニカー工作コーナーも人気です。

日時 7/9(日)10時～18時
場所 アリオ札幌(東区北7東9)

広報番組もチェック！

6/15(木)21時54分～22時放送の「ウオッチングさっぽろ」(1ページ)で省エネ・節電の楽しみ方をお伝えします。



▲エコについて学べる環境プラザも紹介

限りあるエネルギーを未来のために

私たちの生活に欠かすことのできないエネルギー。資源を大切に使い続けるため、市では環境に配慮した次世代エネルギーを推進するとともに、温暖化防止の取り組みを進めていきます。札幌を魅力にあふれ、快適に過ごせる街として次の世代に引き継ぐために、皆さんも省エネ生活を気軽に始めてみませんか。

あきもと かつひろ
札幌市長 秋元 克広

